

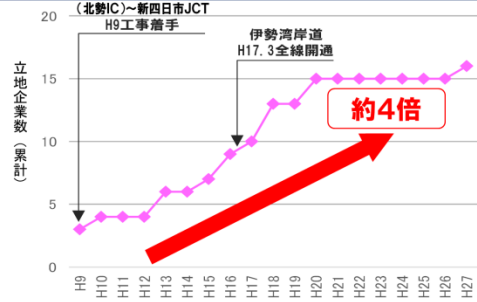
三重県国道協会提言書 —安全な県土の構築と地域成長力を支える道路ネットワーク強化—

— 物流ネットワークの強化 —

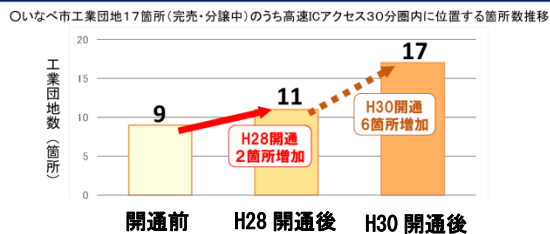
新名神、東海環状の開通で高速ICが新設される三重県内沿線地域3市町（いなべ市、東員町、菟野町）には、20箇所の工業団地が分布

このうち17箇所の工業団地が集中するいなべ市では、**工業団地の立地企業数が、東海環状の工事着手後から現在までに約4倍に増加！**

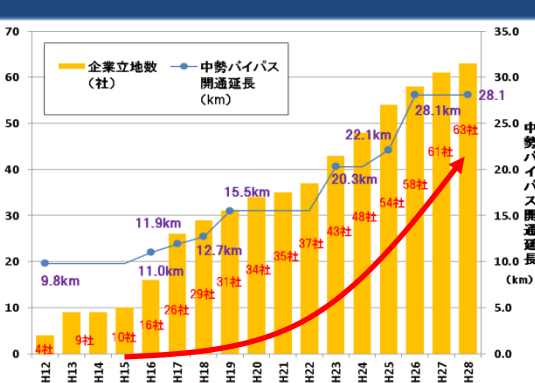
いなべ市工業団地の立地企業数 (新名神高速道路、東海環状自動車道)



高速ICアクセス30分圏内工業団地

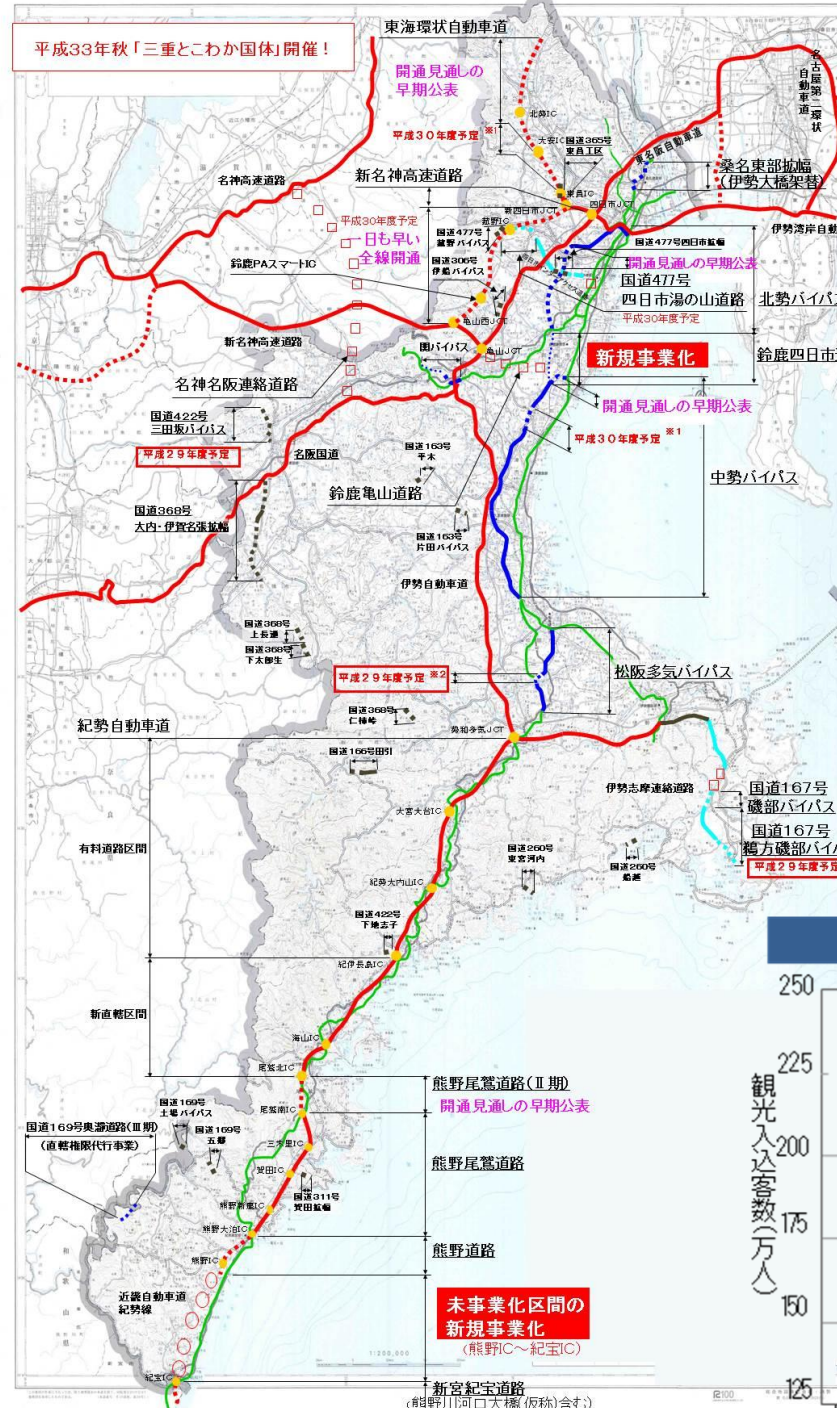


中勢北部サイエンスシティの企業立地推移



課題：都市部等で発生する渋滞
国道1号、23号等は、**渋滞が頻発、企業の生産活動を阻害！**

国道23号の渋滞状況(四日市市内)→



— 開通を見越した設備投資 —

■住友電装

自動車専用ワイヤーハーネス等の製造
世界シェア第2位！
約19億円を投資し新製品を開発する実験棟を建設！



■三重樹脂

ウォータージェット加工機を導入後
本格的に航空機部品加工に参入！
事業拡大に伴い
トラック便、増便予定！
(北勢バイパス、鈴鹿四日市道路、中勢バイパス)



— 県民の安全・安心の確保 —

大規模地震や異常気象による集中豪雨等の自然災害の脅威に対し、地域の安全・安心を支えるためミッシングリンクを解消(近畿自動車道紀勢線)



— 交流人口の拡大 —

高速道路の延伸により交流人口が拡大
東紀州地域の観光入込客数の変化



開通区間の延伸とともに観光客が増加！

提言

- 1 伊勢湾沿岸の直轄国道の北勢バイパス・鈴鹿四日市道路・中勢バイパスの整備を推進(開通見通しを早期公表、既開通区間の渋滞緩和対策を推進、新規事業化)すること。
- 2 東海環状自動車道東員IC~大安IC(仮)を平成30年度開通、大安IC(仮)~岐阜県境間の開通見通しを早期公表すること。
- 3 新名神高速道路を一日も早く全線開通すること。
- 4 中京圏の高速道路の整備においても「道路を賢く使う取組」を検討すること。
- 5 熊野尾鷲道路(Ⅱ期)の整備を推進、開通見通しを早期公表、熊野道路・新宮紀宝道路の整備を推進、熊野IC~紀宝IC間の未事業化区間(約16km)を新規事業化すること。
- 6 国道1号桑名東部拡幅(伊勢大橋架替)の整備を推進すること。
- 7 国道42号松阪多気バイパスの整備推進及び、今後の企業立地の増加に対応した既開通区間の4車化や立体化の早期着手をすること。
- 8 名神名阪連絡道路の早期事業化に向け、直轄調査による技術的な検討を推進すること。
- 9 鈴鹿亀山道路の早期事業化に向け、技術的な支援をすること。
- 10 「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」における特例措置を平成30年度以降も継続すること。
- 11 国道25号名阪国道は、安全対策を着実に進めること。